



環境活動レポート

(2018年10月～2019年9月)



2019年12月20日



yoshimura kankyou seibi

ヨシムラ環境整備株式会社

1. 組織の概要

- (1) 事業者名：ヨシムラ環境整備株式会社
- (2) 代表者：代表取締役 吉村 学
- (3) 設立：昭和 55 年（1980 年）10 月 1 日
- (4) 資本金：320 万円
- (5) 所在地：

本社・工場：広島市安佐北区安佐町久地堀切山 10625 番地 10

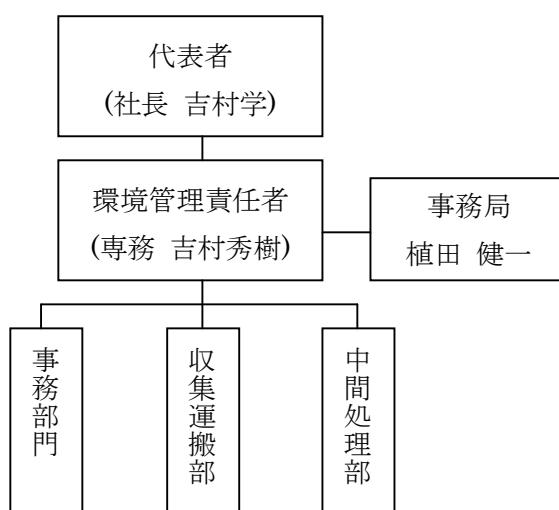
- (6) 事業内容：
産業廃棄物収集運搬及び処分業
- (7) 事業の規模

①売上高および工事件数等

項目	単位	2018 年度
売上高	百万円	121
産業廃棄物処理量	収集・運搬	トン
	中間処理	トン

（注）事業年度：10 月～翌年 9 月（エコアクション 21 運用年度も同じ）

- ②従業員数：7 人
- ③床面積：本社事務所 29 m²、工場・作業所等 702 m²
- (8) 連絡先：環境管理責任者 吉村 秀樹（TEL:082-837-1841）
- (9) 組織図



2. 対象範囲（認証登録範囲）

全組織・全活動を対象範囲とする。

3. 環境方針

本業である廃棄物処理を適正かつ安全に行うとともに、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

1. 環境影響に配慮した事業活動の推進

- ①電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ②中間処理業務における再資源化率の向上に努めます。
- ③節水、グリーン購入に努めます。

2. 法規則等の遵守

事業に関係する諸法令、規則、地域協定を順守し廃棄物の適正処理に努めます。

制定日： 2015年1月20日
改定日： 2016年4月1日

代表取締役社長 吉村 学

4. 環境目標、環境活動計画、環境目標の実績

(1) 環境目標

環境への負荷の自己チェックの結果などを踏まえて 2017 年度を基準として「環境目標」を以下のとおり定めました。

また取扱量の増減による電気及び化石燃料使用量の変動に伴う二酸化炭素排出量の増減に対応するため、当該項目において取扱量の単位あたりの目標値を設定することとします。

目標設定表(改定)

項目	2019 年度	2020 年度	2021 年度
電気使用量の削減 [基準：5.610 kwh/t]	△2% 5.498 kwh/t	△3% 5.442 kwh/t	△4% 5.386 kwh/t
化石燃料使用量の削減 灯油 [基準：1.735 ℥/t]	△2% 1.700 ℥/t	△3% 1.683 ℥/t	△4% 1.666 ℥/t
ガソリン [基準：3.338 ℥/t]	△2% 3.271 ℥/t	△3% 3.238 ℥/t	△4% 3.204 ℥/t
軽油 [基準：26.479 ℥/t]	△2% 25.949 ℥/t	△3% 25.685 ℥/t	△4% 25.420 ℥/t
電気及び化石燃料使用に伴う 二酸化炭素排出量の削減 [基準：85.316kg-CO2/t]	△2% 83.610kg-CO2/t	△3% 82.757kg-CO2/t	△4% 81.903kg-CO2/t
再資源化率の向上 [基準：72%]	76%	78%	80%
節水 [基準：65 m ³]	△2% 63 m ³	△3% 63 m ³	△4% 62 m ³
グリーン購入の推進	4 品目以上	5 品目以上	5 品目以上

(注) 1. 電気使用量削減の基準値は 2017 年度同期間の実績値を同年中間処理量 (=1,724.4589t) で除した値、化石燃料使用量の削減基準値は 2017 年度実績値を同年収集運搬量 (=1,584.1295t) で除した値、節水の基準値は 2017 年度実績値とした。なお「電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量の削減」の目標値算出は、下記[備考表 1]の通りとした。

2. 一般廃棄物は、排出量が少ないとから削減目標は設定していないが、分別等の取組は徹底することとしている。
3. 化学物質は使用していない。

【備考表1】基準年（2017年度）における二酸化炭素排出量の原単位評価指標の設定

基準年：2017年度	実数	原単位指標
電気からの二酸化炭素排出量 (Kg-CO ₂) ※	6,469.899	
中間処理量 (t)	1,724.4589	3.75184
化石燃料からの二酸化炭素排出量 (Kg-CO ₂)	129,207.819	
収集運搬処理量 (t)	1,584.1295	81.56392
□二酸化炭素排出量の総量 (Kg-CO ₂)	135,678	85.316

※中国電力の2017年度排出係数0.669 kg-CO₂/kWhを用いて設定した。

(参考)2013年度実績値を基準値とした目標設定表(旧)

項目	2016年度	2017年度	2018年度	
電気使用量の削減 [基準：9,258kwh]	△3% 8,980 kwh	△4% 8,888 kwh	△5% 8,795 kwh	
化石燃料 使用量の 削減	灯油 [基準：4,705 ℥]	△3% 4,563 ℥	△4% 4,516 ℥	△5% 4,469 ℥
	ガソリン [基準：5,191 ℥]	△3% 5,035 ℥	△4% 4,983 ℥	△5% 4,931 ℥
	軽油 [基準：30,665 ℥]	△3% 29,745 ℥	△4% 29,438 ℥	△5% 29,131 ℥
電気及び化石燃料使用に伴う 二酸化炭素排出量の削減 [基準：110,909kg-CO ₂]	△3% 107,581kg-CO ₂	△4% 106,472kg-CO ₂	△5% 105,363kg-CO ₂	
再資源化率の向上 [基準：64%]	70%	72%	74%	
節水 [基準：77 m ³]	△3% 74 m ³	△4% 74 m ³	△5% 73 m ³	
グリーン購入の推進	1品目以上	2品目以上	3品目以上	

(2) 2018年度の環境目標達成状況

項目	単位	目標値	実績	評価
電気使用量の削減	Kwh/t	5.554	5.149	○
化石燃料使用量の削減	灯油	1.718	0.542	○
	ガソリン	3.305	3.619	×
	軽油	26.214	25.551	○
電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /t	84.463	80.252	○
再資源化率の向上	%	74	60	×
節水	m ³	64	91	×
グリーン購入の推進		2品目以上	3品目	○

上記、電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量実績は、136,161kg-CO₂となり、目標値に相当する二酸化炭素排出量 106,472kg-CO₂に対し、127.9%との結果となった。(購入電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力の2013年度の排出係数 0.719kg-CO₂/kwh を使用した。)

5. 主要な環境活動計画の内容と取り組み結果の評価、次年度の取組内容

環境目標の項目毎の環境活動計画の内容と取り組み結果の評価を以下に示します。

(1) 電気使用量の削減

エアコン設定温度の確認や、夜間に使用する電灯をLEDに更新する事などで電気使用量を削減することができた。また、中間処理（破碎機による）における作業では重機によって前処理を適正に行うことにより破碎機の過負荷による電力の消費を抑えることに繋がった。次年度も目標を達成できるよう努力します。

(2) 化石燃料使用量の削減

- ① 化石燃料の使用に伴う二酸化炭素排出量は、2018年度実績で全体の95.72%を占めるため、その削減は重要課題と考えています。
- ② 灯油を使用する重機の省エネ運転で目標達成できたが、今後低燃費重機の採用を検討する必要がある。
- ③ ガソリンを使用する営業車について、エコドライブの実践を試みているものの、市街地エリアでの営業活動が多かったため、燃費悪化となり目標達成できなかった。今後は電車など公共交通機関を積極的に活用して更にCO₂削減を意識した営業活動を行います。

④ 軽油を使用する収集運搬車両、重機については、各自担当する車両のエコドライブや省エネ運転を実践することにより目標達成できた。日常点検はもとより、社内独自の「エコドライブ実施状況チェック表」などを活用し今後も CO2 削減の取り組みを継続します。

(3) 産業廃棄物再資源化の徹底

弊社の取り扱う主な品目は廃プラスチック類と金属くずで、その内金属くずは製鋼原料向けなどリサイクルルートを確立しており、ほぼ 100% 再資源化できている。しかし廃プラスチック類に関して、手選別などで可能な限りサーマルリサイクルまたはマテリアルリサイクルしているが、取扱量増加や再資源化困難物の受け入れ増などに伴い埋立て処分量も増加した。全体で目標値より 14 ポイント下回る結果となり、今後は今以上に分別の徹底、リサイクルルートの新規開拓が急務と捉え、再資源化率を向上(目標達成)できるよう努力します。

(4) 節水

常日頃節水を心がけるよう「節水」ラベルを各蛇口に掲示して意識付けしている。しかし夏場に強い日差しによる工場敷地内温度上昇の予防や冷却、屋外作業中の熱中症対策に多く使用したため目標達成できませんでした。今後「节水型ミスト」の導入も検討します。

(5) グリーン購入の推進

目標値は達成しました。引き続きグリーン購入に取り組むこととします。

(6) その他の活動

会社周辺の清掃活動の実施や、一般社団法人広島県資源循環協会の取組への参加、敷地内の自然環境観察などをしております。

【具体的な活動内容の一例】



(環境の日ひろしま大会の参加)



(広島県資源循環協会総会、同青年部総会に参加)



(広島県内企業のリサイクル施設見学・情報交換・意見交換)



・事務所内に「運輸マネジメントの取り組み」「運行管理者資格者証」の掲示



・「産廃収集運搬車両」兼「一般貨物自動車運送事業登録車両」
(産廃収集運搬業許可を補完する目的で「一般貨物自動車運送事業」を取得)



(敷地内の自然環境観察や野鳥「キセキレイ」を観察)*毎年春敷地内に営巣

6. 環境関連法規制等の遵守状況

適用される主な環境関連法規制は廃棄物処理法です。遵守評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間、当局からの違反の指摘や訴訟もありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21の活動への取り組みも日常業務に少しずつ根付いてきた結果、会社の環境目標の達成率も上がってきた。

達成されていない再資源化率の向上等の改善点としては、今後の業務受注量の推移を見守り、必要であれば目標値の見直しも検討し継続的に改善を図って行きたい。

8. 廃棄物処理業に関する情報

(1) 許可の内容

①一般廃棄物

なし

②産業廃棄物

a 許可品目

許可品目	収集運搬業(上段:許可年月日 下段:有効年月日)						処分業 広島市
	広島市 2018/10/12 2025/10/11	広島県 2018/11/24 2025/11/23	山口県 2019/10/13 2026/10/12	岡山県 2018/10/1 2025/9/30	島根県 2018/9/5 2025/9/4	鳥取県 2018/9/1 2025/8/31	
燃え殻	○	○	○				
汚泥	○	○	○	○	○	○	
廃油	○	○	○	○	○	○	
廃酸	○	○	○				
廃アルカリ	○	○	○				
廃プラス類	○	○	○	○	○	○	○
紙くず	○	○	○	○	○	○	○
木くず	○	○	○	○	○	○	○
繊維くず	○	○	○	○	○	○	○
ゴムくず	○	○	○	○	○	○	○
金属くず	○	○	○	○	○	○	○
ガラスくず等	○	○	○	○	○	○	○
がれき類	○	○	○	○	○	○	

○: 積替保管を含まない

◎: 積替保管を含む

b 許可番号

管轄	許可の種類	許可番号
広島市	産業廃棄物収集運搬業(優良)	07310010149
	産業廃棄物中間処理業(優良)	07320010149
広島県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	3409010149
山口県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	03500010149
岡山県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	03301010149
島根県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	3200010149
鳥取県	産業廃棄物収集運搬業(優良)	03104010149

c 事業の区分

産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物中間処理業 中間処理(破碎)

(2) 施設等の状況

①設備概要

車両台数

車種	台数	備考
8t脱着装置付コンテナ車	2台	
8tクレーン付ダンプ車	1台	
3t脱着装置付コンテナ車	1台	
3tクレーン付パワーゲート車	1台	18年度増車
3tパワーゲート車	1台	
1.5tパワーゲート車	1台	
合計	7台	なお別途営業車両1台あり

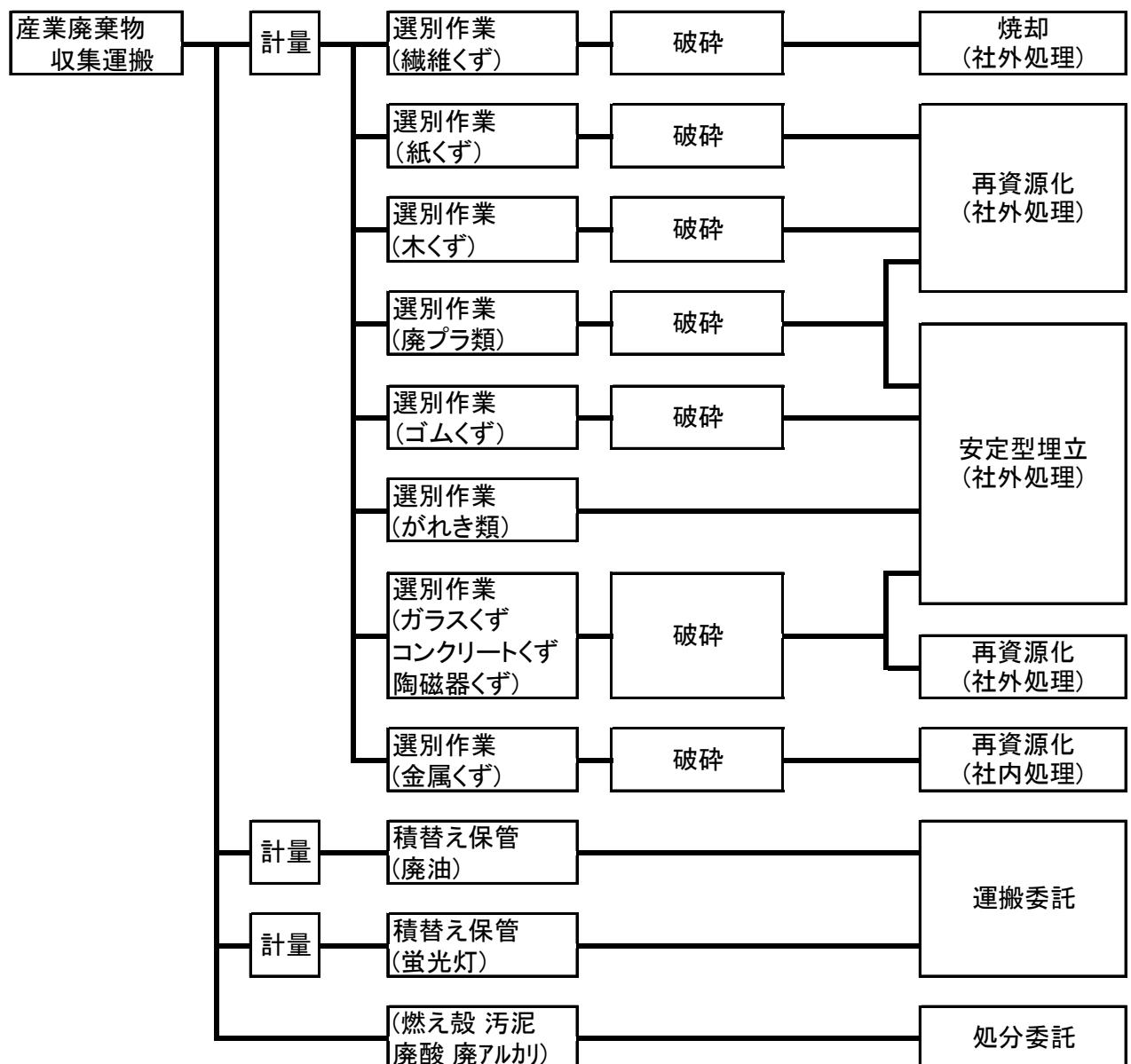
主要設備

名称	台数	備考
2軸せん断破碎機	1基	
40t トラックスケール	1基	
2t フォークリフト	3台	
0.25m ³ バックホウ	3台	

積み替え保管施設

名称	保管面積	保管上限量	備考
ヨシムラ環境整備(株)	64.15 m ³	95.84 m ³	

処理工程図



(注) 処理能力は、廃プラスチック類 4.72t/日、紙くず 4.08t/日、木くず 4.72t/日、纖維くず 2.72t/日、ゴムくず 4.4t/日、金属くず 4.96t/日、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず 4.4t/日 (8 H)

(3) 処理実績

2018年度（2018年10月～2019年9月）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i) 収集運搬	コンクリートくず		2.94
	廃油		21.51
	金属くず		639.391
	ガラス陶磁器くず		5.55
	紙くず		48.3
	廃プラ類		1036.221
	木くず		109.38
	繊維くず		0
	ゴムくず		0
	がれき類		31.31
	燃えがら		0
	汚泥		0
	廃酸		0
	廃アルカリ		0.61
	石綿含有廃棄物		0.5
	水銀使用製品産業廃棄物		3.982
収集運搬量合計			1899.694
(ii) 中間処理	コンクリートくず	破碎	3.16
	金属くず	破碎	691.5682
	紙くず	破碎	12.785
	廃プラ類	破碎	1079.2073
	木くず	破碎	109.08
	繊維くず		0
	ゴムくず		0
うち 再資源化等	金属くず		691.5682
	廃プラ類		314.92
	コンクリートくず		0
	紙くず		12.785
	木くず		109.08
	再資源化等量小計		1128.3532
中間処理合計			1895.8005
(iii) 最終処分			0
			0
			0
	最終処分量合計		0
(iv) 中間処理後の 産業廃棄物	最終処分	廃プラ類	764.2873
		コンクリートくず	3.16
		ゴムくず	0
		繊維くず	0
	再資源化等	金属くず	691.5682
		廃プラ類	314.92
		コンクリートくず	0
		紙くず	12.785
		木くず	109.08
		再資源化等量小計	
中間処理後処分量合計			1895.8005